

枠組足場の施工と注意事項・強度

枠組足場（労働安全衛生規則に準ずる）

- 足場の脚部には足場の滑動又は沈下を防止するため、ベース金具を用い、かつ敷板、敷角などを用い、根がらみを設けるなどの措置を講じてください。
- 水平材は最上層及び5層以内ごとに設けることになっていますが、鋼製布板をもって水平材にかえることができます。
- 筋かいで補強してください。
- 壁つなぎは引張力、圧縮力に耐えられる物を使用してください。間隔は3層4スパン(9m×8m)ごとに設けてください。シート取付の時は2層2スパンごとに設けてください。
- 枠組み足場のコーナーには必ず、つなぎ材を設け建枠を緊結してください。
- 鋼管の接続部又は交差部はこれに適合した附属金属を用いて確実に接続し又は緊結してください。

枠組足場の強度

強度-1

鳥居型建枠	記号	a	b	c		d		e		f	
	荷重										
建枠	A-4064	A-4055 B A-405 A-3055 A	A-4064 A-4055 B A-405	A-3055 A	A-4064 A-4055 B A-405	A-3055 A	A-4064 A-4055 B A-405	A-4064 A-4055 B A-405	A-3055 A		
I 枠当り破壊荷重 (t)	11.0	11.0	9.0		7.9	6.4	4.0		2.3	2.9	
脚管許容荷重 (t)	2.0	2.175	—		—		—		—		
I 枠許容荷重 (t)	4.0	4.35	4.0		3.0		2.0		1.0		
許容荷重時 横地たわみ (mm)	—	—	1.4	2.3	1.6	1.9	4.1		5.0	3.4	

※たわみ 3.4 mm は 900kg 時

強度-2

梯子型建枠	記号	g	h	i	j	k	L
	荷重						
建枠	A-404 L A-403 L (T) A-417 (T) A-303 L (T)	A-404 T A-304 T	←		←	A-403 T A-417 T A-303 T A-317	←
I 枠当り破壊荷重 (t)	15.5	—	7.2		—	7.1	—
脚管許容荷重 (t)	2.175	2.175	P ₁ 2.5 t		P ₁ 2.5t 但し I 枠 4.35t マデ		P ₁ 2.5t 但し I 枠 4.35t マデ
I 枠許容荷重 (t)	4.35	4.35	2.5		2.5		4.35
許容荷重時 横地たわみ (mm)	—	—	2.5		—		1.9

- 他の部材許容荷重 ●ジャッキ類（枠組足場使用時）A-752・A-75・A-752H・A-752S・A-752HS・P752HS→2.5t
- アームロック A-127A・A-125A・A-123A・A-126A・A-128A→0.3t（引張荷重）
- 車輪 A-1728・A-728J（ジャッキ付）→0.2t

枠組サポート（労働安全衛生規則に準ずる）

- 建枠の沈下を防止するための敷角の使用、ステコン、及びびくの打ち込みなどの措置を講じてください。
- 建枠の脚部の滑動を防止するための脚部の固定、根がらみの取付などの措置を講じてください。
- 建枠の振れ止めは単管を使用し、クランプにて緊結してください。
- 建枠と建枠の間に交差筋違を設けてください。
- 最上階及び垂直方向5層以内、水平方向5スパン以内ごとに水平つなぎを設け、水平及び垂直変位を防止してください。
- 建枠の上端には必ずジャッキベースなどを用いて組立てはり材、バタ角材を固定してください。

強度-3

簡易枠・プラケット枠	記号	m	n	o	p	q
	荷重					
建枠	A-2617 S N (S) A-6117 S N (S) A-4117 S N	←	←	←	A-9117 A-2617 A-6117 A-4117	A-2 A-4
I 枠当り破壊荷重 (t)	8.0	—	—	—	8.5	—
脚管許容荷重 (t)	1.75	←	←	←	1.5	1.75
I 枠許容荷重 (t)	3.5	2.0	1.0	3.0	3.5	3.5
許容荷重時 横地たわみ (mm)	—	0.9	2.3	—	—	—

※たわみ 3.4 mm は 900kg 時

強度-4

梁枠・鋼製布板	品名	梁 枠	鋼 製 布 板			
	荷重					
品番	A-148 A-147 A-146J	BKN-6 他 (500幅)	BKN-640 (400幅)	(300幅)	BKN-624他 (240幅)	
I 枠当り破壊荷重 (t)	—	—	—	—	—	
脚管許容荷重 (t)	—	—	—	—	—	
I 枠許容荷重 (t)	1.0/2枠	0.25	0.2	0.15	0.12	
許容荷重時 横地たわみ (mm)	—	—	—	—	—	